

会議結果(書面開催)

会議名	令和2年度 第2回印西市子ども・子育て会議
通知発送日	令和3年1月18日(月)
協議期限	令和3年1月27日(水)
出席委員	西村 信会長、山田 葉子委員、武藤 茂委員、古賀 一人委員、岩井 基委員、松山 毅委員、石川 真樹子委員、鈴木 寧子委員、塚田 昌幸委員、篠原 裕子委員 計 10名
欠席委員	鈴木 さおり委員 計 1名
議題	(1) 市内保育園の利用定員について
配布資料	(1) 市内保育園の利用定員について【資料1】 (2) 別紙 (3) 返信用封筒
協議結果	書面による協議を実施した結果、協議事項について9名の委員から承認の回答があり、原案どおり承認された。

意見等

(1) 市内保育園の利用定員について

- 【委員】 新規開園予定の（仮称）カインドナーサリー牧の原第2園について、2階のため、外階段のほかに、緊急時脱出用にすべり台が併設されているとより安心と考える。
- 【事務局】 市条例や関係法令において、設備基準等が定められておりますが、2階に保育室を設置する場合の要件がございます。今回の施設は、屋外階段が2箇所と、斜降式救助袋が設置されております。また、開園後は毎月訓練を実施する必要がありますので、災害等に備えしっかり訓練を行うよう指導して参ります。
- 【委員】 コロナ禍で、待機児童数が減っている自治体があるが、印西市はどうか。また、少子化になっているが、計画に変更はあるか。
- 【事務局】 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、保育需要に影響が生じているか不明ですが、本市においては、変わらず多くの入園申請があり、令和3年4月時点で、待機児童が発生することが予想されます。また、今後、子ども・子育て支援事業計画の数値の見直しを行っていきたいと考えております。
- 【委員】 現状の待機児童数、予測される申込み数や待機児童数などのデータに基づいて、今回の新規開園・増員でどの程度解消される見込みか。
- 【事務局】 令和2年度中の施設整備により、利用定員を確保しますが、令和3年4月入園の1次結果（令和3年1月27日現在）から、解消は難しい状況であると考えております。既に、小規模保育事業所を3施設公募しておりますが、それに加えて受皿整備が必要であると認識しております。
- 【委員】 保育園のニーズと社会資源の整備状況の整合性はどの程度か。今後増えそうな地域での資源整備は計画的に行う予定か。
- 【事務局】 保育園のニーズと社会資源の整備状況の整合性につきましては、物件の確保等の都合もありますが、子ども・子育て計画より見込まれる区域に整備を予定しております。また、子ども・子育て計画を毎年評価し、見直しを図るなかで、今後増えそうな地域につきましては、保育需要を予測し必要な場合は、施設整備等を行う予定としております。
- 【委員】 しおん分園モアフラワールンドの閉園の理由は、
- 【事務局】 賃貸物件を活用し、保育所分園の運営をしておりましたが、令和3年3月31日をもって、契約期間が満了することから閉園することとなりました。
- 【委員】 (学) 西村学園が運営している施設を、(学) 大和学園に無償譲渡する理由は、
- 【事務局】 (学) 大和学園が同施設で小規模保育事業A型を運営したいと申し出があり、両法人で調整を行い、施設設備を無償譲渡することとなりました。

意見等

- 【委員】 にこにこルーム原山について、ニュースでも取り上げられていたが、利用者に影響はなかったのか。市として今回の件をどう考えているか。
- 【委員】 にこにこルーム原山について、実際はどういう状況だったのか。市として実態を把握し、今後またこのようなことが起きた際にうまく対応してほしい。今回在園していた園児の受け入れ先はどうなっているか。
- 【委員】 にこにこルーム原山の閉園における市の責任について、説明をして欲しい。ただ待機児童を減らすだけでなく、設立後、適切に運営出来ているか等も市として、管理、サポートし、子ども達の安全な生活を守って欲しいと願う。
- 【事務局】 複数の委員よりご意見等を頂戴しましたので、別紙のとおり報告いたします。なお、書面開催時の資料では、ご説明が不足しておりましたことを深くお詫び申し上げます。
- 【委員】 今回の利用定員について、今回の拡大により市民のニーズに応えられていると思う。今後もニーズに合わせ、拡大を希望する。

令和2年度第2回子ども・子育て会議の会議結果を承認する。

令和 3年 1月 27日

子ども・子育て会議委員 石川 真樹子

子ども・子育て会議委員 鈴木 寧子